

オアシスだより

第19号 平成26年1月4日発行



新年のご挨拶



皆様、明けましておめでとうございます。
本年もオアシスグループをよろしく願いたします。



オアシス第二病院
院長 三倉 剛

昔からよく『笑う門には福来る』といいますね。『笑い』の効用も最近よく言われております。
『笑う』ことで免疫力が高まるなんて言われます。

さて私事ではございますが、先日『笑医塾』を主催する高柳和江先生(小児外科のお医者さんです)
のセミナーを受講しました。先生のモットーはこういうことです。

「どんなにつらいことがあっても、とても笑える状況でなくても、
1日5回笑って、1日5回感動しよう!

すると、
あたたかい気持ちになれる。自分に自信がつく。自分の人生を愛することができる。
美しくなる。病や痛みが軽減する。元気を取り戻せる。

さあ、
元気になったら、その元気を、幸せを、あなたの周りのすべての人に広げましょう。
すると、
笑顔のコミュニケーションで、あなたはもっと元気で幸せになれる。」

ただの口演ではなく、会場でたまたま横に座った人と褒め合うというロールプレイング
(役割実演法。実際の場面を想定し、さまざまな 役割を演じさせて、問題の解決法を会得させる学習法)
するものでした。たとえば、隣の人の服を褒めるのではなく、「その服を選んだあなたのセンスが素晴らしい。」
といった、その人の本質を褒めてあげる。そしてその代わりに褒められた人は、お礼を言って、
さらに「人を褒めるあなたの笑顔が素敵ですね。」と褒め返す。

こうして「褒め上げ」の正のスパイラルを続ければ、皆笑顔になり、愛に満ちた温かい気持ちになるというのです。
失笑や苦笑い、人の欠点をあざ笑う「笑い」ではなく、『幸せの笑い』です。

高柳先生は大変陽気な方です。だから、最初はあつけにとられました。ですが、ロールプレイングを
こなすうちに、ああ、こういうことかと腑に落ちました。

皆様も、お正月から、こうした笑いを始められてはいかがでしょう？
私たちもそう努力してみたいと思っています。



部署紹介・その18 介護老人保健施設 コスモス苑

コスモス苑のベッド数は48床(内ショートステイが2床)です。

入所者さんは要介護1~5の介護認定があり、自宅での生活が難しい方々が施設で生活を送る中で、リハビリやレクリエーションに参加され、談笑や読書をして一日を過ごして頂く場所です。

理事長(施設長)の下で職員は看護師7名、介護職12名の体制で交代勤務をしています。職員は皆、入所者さんに対して笑顔で接し、心地良く生活して頂けるように「おもてなし」の誠心で仕事をしているつもりです。

是非、当苑が毎月発行しております「コスモスだより」を見て頂き、コスモス苑を覗いてみて下さい。

職員一同お待ちしております。

コスモス苑看護師長 佐藤 清美



お問い合わせ
医療法人善昭会

オアシス第一病院

〒870-0103 大分市東鶴崎3丁目3-19

電話 097-527-2211 Fax 097-522-0511

